

第1回角田市上下水道事業運営審議会会議記録

日時：令和6年10月1日（火）午後3時～午後4時45分

場所：角田市役所301会議室

出席委員：杉委員、古積委員、島津委員、高橋委員、鈴木（文）委員、鈴木（淑）委員、
笹木委員 以上7名（欠席1名 中嶋委員）

市出席者：角田市長 黒須 貫

事務局：上下水道事業所長、事務次長（総括・水道）、事務次長（下水道）、技術次長兼水道
施設係長、技術次長兼下水道施設係長、経営管理係長、経営管理係主事

傍聴者：なし

○内容

第1回審議会

1 開会及び市長から委員への辞令交付

8名に辞令交付が行われた。

2 市長挨拶

上下水道事業に関する諮問機関が初めて設置し、委員からの意見や提案を期待している旨が伝えられ、下水道経営戦略や使用料改定についても審議を依頼する意向を示した。

3 会長選出

市長が仮議長となり、会長選出に当たり委員の互選による立候補者を募った結果、立候補者不在のため、事務局からの提案により島津委員を推挙し、賛成多数で決定された。

4 副会長選出

島津委員が会長に就任し、副会長には高橋委員が会長から推薦された。

5 諮問

市長から会長へ、角田市下水道事業経営戦略の策定について及び、下水道使用料の改定について諮問が行われた。

6 議事

事務局より次の内容について説明が行われた。

（１）水道事業の概要について

（２）下水道事業の概要について

（３）下水道事業経営戦略及び下水道使用料の改定について

（４）今後のスケジュールについて

説明後、会長より委員へ質問、意見等について諮られ、以下のとおり受け答えが行われました。

委員 水道事業において企業債発行というのはどのような内容か。また、毎年発行しているのか。

事務局 企業債は政府関係機関や金融公庫などが発行する債券であり、事業を行うための資金として借入れを行うもの。水道事業では毎年発行ではなく、久しぶりの借入れである。

委員 経営戦略の改定についてはコンサルタントに依頼をしているのか。

事務局 株式会社ぎょうせいに業務委託を行い、現在作成中。

委員 下水道使用料の改定について、予定している金額の妥当性について。

事務局 経営戦略における計画を作成し、必要な使用料の妥当性を判断する。

委員 他会計補助金と負担金の違いについて。

事務局 市からの補助金と負担金であり、汚水私費と雨水公費の原則から、基本的に雨水に関する経費は負担金として受け取っている。

委員 合併浄化槽について教えて欲しい。

事務局 市街地以外の地域で利用され、家庭用では5人槽程度のものが使用されており、し尿を含む生活排水を浄化槽内でばっ気することで浄化排水している。

会長 補足として、合併浄化槽は、し尿を含む生活排水を浄化槽で処理し、単独浄化槽はし尿のみを浄化槽で処理し、生活排水は未処理で排水していたものになる。

委員 水道事業の職員に係る給料は市からではなく水道料金の収入から支払われているのか。

事務局 水道料金の収入から支払われている。

委員 水道ビジョンや資料について、専門性が高く理解するのが精一杯である。

委員 専門性が高く、言葉がわからないこと。また、資料の内容が詳細なため、分かり難いと感じる。

委員 一般市民として女性も委員として参画するようになっているものと思うが、専門家でなければ理解することが出来ない内容である。

委員 例えば赤字状況など分かりやすく示して、料金改定の必要性が分かりやすく見てわかる資料を作成して欲しい。

委員 一般企業会計と異なる点があり、専門性が高いと感じる。いかに説得力をもった数字の提示ができるか考慮いただき、分かりやすい資料として欲しい。

委員 事業の特殊性から言葉がわからない。料金について個人的には低い方が良いという思いはあるが、料金の改定は必要なものであると認識している。

委員 内容が多く、会議に時間が掛かるので、次回は開始前に終了予定時刻を示してほしい。

会長 次回より、論点を絞った内容でお願いしたい。

事務局 上下水道事業として、審議会の初回会議ということで、現状を説明するために資料が広範囲かつ分かりにくいものとなっていた。次回からはなるべく分かりやすい資料の作成に努める。